

継続事業 東ティモール

農業用水改善事業

— 地球にも女性にもやさしい点滴灌漑を使って、貧困削減と女性のエンパワメントを目指す —



活動地域: エルメラ県アッサベ郡の4村内12集落
 事業期間: 2020年3月31日*~2024年2月13日*うち、2020年3月31日~同年10月31日の約7か月間は新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動休止
 事業規模: 当年度支出額41,453千円(総事業規模: 約144,000千円)
 主な支援者: 外務省、支援組織、個人

12 グループ

農民グループ(集落)の数

675 m²

1年次に点滴灌漑を設置した野菜苗床面積

72 人

設備維持管理委員会メンバー数
(各グループ6人、うち半数は女性)



©Josh Estey/CARE

課題

活動地のエルメラ県アッサベ郡では、多くの人々が零細農業を営んでいますが、農業生産性は低く、生業状況は脆弱なため、貧困度の高い地域となっています。背景には、気候変動に伴う天候不順等、様々な要因がありますが、乾季の水不足も農業を妨げる大きな要因です。雨季の天気に頼った穀物の生産だけでなく、農業を多様化し、年間を通じ作物が収穫できる環境への改善が求められています。そのためには、農業用水設備の整備を進め、乾季の水不足を解決することが重要です。また、膨大な労力を必要とする水汲みと農作物への水やりは女性農民が主に担っています。貯水タンクや点滴灌漑設備などを設置することで、安定的な農作物の収穫が期待でき、さらに水汲みや水やりにかかる労働から女性農民を解放することが可能となります。

活動内容

本事業では、2021年12月に1年次を終了し、2022年2月より2年次を開始。1年次では5つの農民グループ、2年次では7つの農民グループをそれぞれ組織し、農業用水設備の整備と維持管理にかかる様々な技術研修や実践の場を提供しました。具体的には、1年次グループは点滴灌漑とスプリンクラー設備を増設し、2年次グループは設備の造成に着手しました。加えて、ジェンダー平等に向けた意識改革を促進するため、パブリックスピーキング・リーダーシップ研修とジェンダー分析ワークショップも実施しました。1年次では、広くコミュニティ全体を対象とする活動のうち7割で、女性の参加が男性を上回るか男女同数でしたが、2年次に入り女性の参加比率の低迷が顕著になりました。一方で、農民グループメンバー間の参加比率については男女半々の状態を維持しています。特に農民グループにおいて、女性の活動参加への理解が深まりつつあることがその背景として考えられます。

受益者の声



ジュリアナさん

女性がリーダーを務める農民グループに参加しているジュリアナさん。積極的に活動し「農地を拡大して、より多くの野菜を育てたい」と考えています。この事業では、女性が積極的に農民グループ活動に参加し、発言力を増して、意思決定のプロセスに参画していくことを目指しています。その背景には、東ティモールには深刻なジェンダーに基づく暴力の問題があるからです。実際に、パートナーのいる女性の半数以上の58.8%は暴力を経験しているという報告がなされています。女性が農業を通じて現金収入を得られることによって、女性の家庭内、そして地域における地位が向上し、ジェンダーに基づく暴力をなくすことも本事業の大きな目標の一つとなっています。